

# 早寝早起き朝ごはん運動

## 入賞者のみなさん

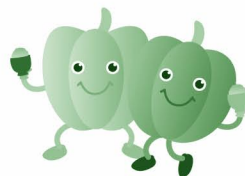
### ◆『わが家の標語』部門

- ・松陽中学校 2年 成田 朱里 さん
- ・国府小学校 6年 水原 妃愛 さん
- ・日末小学校 4年 西野 美月 さん
- ・芦城小学校 2年 中川 翼 さん
- ・第一小学校 1年 安田 晃琉 さん



### ◆『わたしの朝ごはん』部門

- ・南部中学校 3年 大平 歩美 さん
- ・稚松小学校 6年 藤本みのり さん
- ・芦城小学校 6年 島崎いろは さん
- ・中海小学校 2年 若本 遥貴 さん
- ・月津小学校 1年 宮本 夏那 さん



### ◆『ポスター・絵画』部門

- ・月津小学校 5年 塚本 彩友 さん
- ・向本折小学校 4年 田端 美結 さん
- ・向本折小学校 4年 牧 香里奈 さん
- ・芦城小学校 4年 瀧 菜々子 さん
- ・安宅小学校 2年 南 ましろ さん
- ・第一小学校 2年 谷口 来夢 さん



### ◆『地域功労』部門

- ・吉竹町公民館子供会 様



応募総数 3,516点、各部門におきましても多数のご応募いただきまして有難うございました。

# 早寝早起き朝ごはん運動

## 小松市民大会

日時 平成30年 **11月25日**(日)  
13時～16時

場所 サイエンスヒルズこまつ わくわくホール

### — 次 第 —

- ・オープニング 小松市立板津中学校吹奏楽部
- ・開会挨拶
- ・来賓挨拶
- ・表彰式
 

「わが家の標語」	部門
「わたしの朝ごはん」	部門
「ポスター・絵画」	部門
「地域功労」	部門



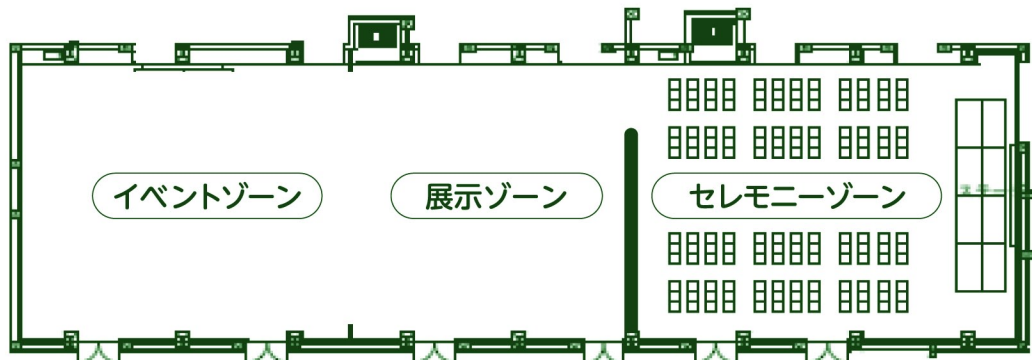
小松市イメージキャラクター  
「カブッキー」

- ・多賀クリニック 多賀先生によるミニセミナー
- ・小松市立学校PTA連合会母親委員会 研究発表
- ・カブッキーとジャンケン大会



主催／小松市立学校PTA連合会  
後援／小松市・小松市教育委員会  
共催／社会を明るくする運動小松市実施委員会・小松能美保護区保護司会

サイエンスヒルズこまつ わくわくホール 会場図



入口側

イベントゾーン スポーツ&フィットネスチェックコーナー

石川県立大学 宮口 和義教授監修

フィットネス・チェック	筋力や敏しょう性、からだの協応能力などを測ります。 スピードガン/背筋力/反復左右とび/10秒なわとび
足圧分布測定	足の裏にどのように力がかかっているかを測ります。
スポーツコーナー	運動の体験により運動神経の向上や運動動作の習得を促します。 ・投げる動作習得のための「むちで音ならし」 ・バランス能力の向上、足裏の形成促進「竹ゆらぎ平均台」 ・敏しょう性やリズム感などを養う「ラダートレーニング」

- 展示ゾーン
- ・我が家の標語「私の朝ごはんレシピ」「ポスター絵画」の優秀作品の展示
  - ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会
  - ・カブッキーのぬりえコーナー
  - ・フードコーナー (スイーツ・パン など)

15:30～

★カブッキーとジャンケン大会

カブッキーも来るよ!



小松市イメージキャラクター

- セレモニーゾーン
- |         |                |
|---------|----------------|
| 13:00～  | 14:00          |
| ・オープニング | ・ミニセミナー 多賀千之先生 |
| ・開会式    |                |
| 来賓挨拶    | 14:30          |
| 表彰式     | ・母親委員会による発表    |

オープニング 小松市立板津中学校吹奏楽部

2018年 中部日本吹奏楽コンクール本大会 文部科学大臣奨励賞 受賞  
北陸吹奏楽コンクール 金賞 受賞



こんにちは。板津中学校吹奏楽部です。  
私たちは、2年生18名、1年生15名の33名で、より良い音楽を求めて日々練習に励んでいます。  
聴いていただく皆様楽しんでいただけるように精一杯演奏致しますので、どうぞお聴き下さい。

★ミニセミナー

- 講師 多賀クリニック 多賀 千之 先生
- 演題 『あなたは外国人に日本のことを自慢できますか?』

セレモニーゾーン 小松市立学校PTA連合会 母親委員会による発表

『子どもたちをよりよく育てるために ～各グループで研究・研修しました～』

A グループ 「人を信じる力」を育てるために  
～ 甘える壺をいっぱいになろう ～



B グループ 親子の時間を増やそう



C グループ HUG (ハグ) 最高!  
～ 子どもと二人の時間をつくっていますか? ～



D グループ 思春期も楽しもう!  
～ 親子が信じあう力を育むため ～

